

教えて!ドクター

箕輪先生

Q&A

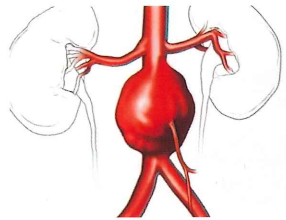


副院長 (兼)  
血管外科部長  
箕輪 隆

## 破裂すると怖い 腹部大動脈瘤

### Q 腹部大動脈瘤とは?

おなかの大動脈が部分的に拡張した病態です。動脈瘤は全身の動脈に発生しますが、腹部では95%が腎臓動脈の下流に生じ、破裂すると80%の症例が死亡する怖い病気です。



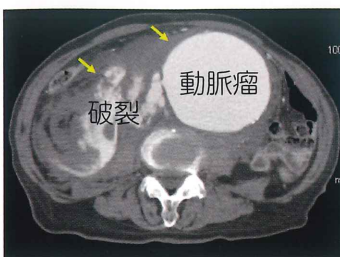
### Q 多い病気ですか?

腹部大動脈瘤は日本も含め先進国では増加傾向です。司馬遼太郎さんや淀川長治さんも腹部大動脈瘤破裂で亡くなっています。

### Q 原因はなんですか?

腹部大動脈瘤の原因は動脈硬化や大動脈壁の加齢変性がなどが考えられています。危険因子は年齢(60才以上)、男性(女性の5倍)、高血圧、喫煙、家族歴などががあります。

### Q どんな症状がでますか?



破裂して激しい腹痛・腰痛を生じるまで、ほとんど無症状です。おへその周辺に拍動性の腫瘍を触ることがありますが、自分で気づく方は4割以下です。残りはCTや超音波検査で偶然発見されるか、破裂して初めて診断されます。

破裂して激しい腹痛・腰痛を生じるまで、ほとんど無症状です。おへその周辺に拍動性の腫瘍を触ることがありますが、自分で気づく方は4割以下です。残りはCTや超音波検査で偶然発見されるか、破裂して初めて診断されます。

### Q そのままにしておくとは?

腹部大動脈瘤の最も怖い予後は破裂です。破裂する確率は瘤の直径に比例し、4cm以下では年間数%ですが、5-6cmで15%、7cm以上では40%が破裂します。そして、いったん破裂すると60%が病院に運ばれる前に亡くなり、緊急手術ができて半数しか救命できません。

### Q 治療法は?

無症状でも瘤径5cm以上が外科治療の対象となります。

#### a) スtentグラフト留置術(カテーテル治療)

ボールペンの太さほどのカテーテルを、足の付け根の動脈から腹部大動脈に誘導し、ステントと呼ばれるコイルを縫いこんだ人工血管を動脈瘤内に留置し、血液が動脈瘤内に流れ込まないようにして破裂を予防します。

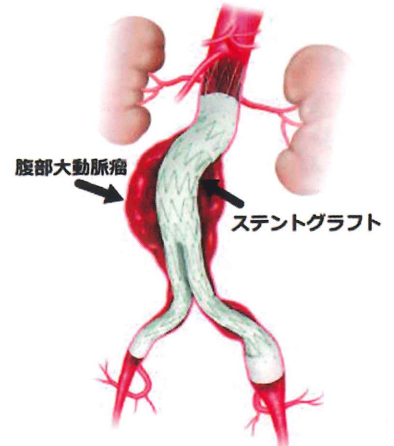


図: スtentグラフトを血管の中で広げたところ

#### b) 人工血管置換術(全身麻酔)

腹壁を切開して、動脈瘤の上下で大動脈を鉗子で挟んで血流を遮断している間に、動脈瘤を切開して人工血管を瘤の上下の正常な動脈に縫い付けます。

#### 専門医からひと言

腹部大動脈瘤は破裂する前に発見することが重要です。60才以上の男性喫煙者で動脈瘤の家族歴のある方は、定期的に超音波やCT検査を受けましょう。



血管外科外来  
月曜日午前  
金曜日午後